

①Bigdata&クラウド対応パッケージ型コンテナ

お客様は膨大なデータの中から特定の物を探し出す事、すなわちBigdataの活用で勝敗が左右されます。クラウドアプリ環境も大筋固まり、OpenStack、CloudStackが実用域に到達し、仮想化もコンテナ型が主流になりつつあります。そのような時代のコンピュータシステムは従来とはかなり異なり、同一様式のコンピュータを効率良く並列配置します。しかし百台以上のサーバを事業所内に設置するのは大変困難です。そこでコンテナ内部に大量のサーバとネットワークをあらかじめ搭載したパッケージ型コンテナを用意致しました。外部より電気と光回線を供給するのみで稼働します。UPSも内蔵しています。これを空き駐車場等に設置すれば即日稼働します。



②どこでも電算室

多数の企業様の電算室はデータセンタ事業者にコロケーションとして預けるか、事業所内ビルに設置されています。ビル内電算室は電源供給能力や空調能力が人の仕事スペースを圧迫します。思い切ってコンテナにビル内部のIT機器を移動し、ビルの駐車場等に設置します。空調も発熱機器を外出した事で余裕が出来、夏場の冷えない時期も快適になる可能性があります。

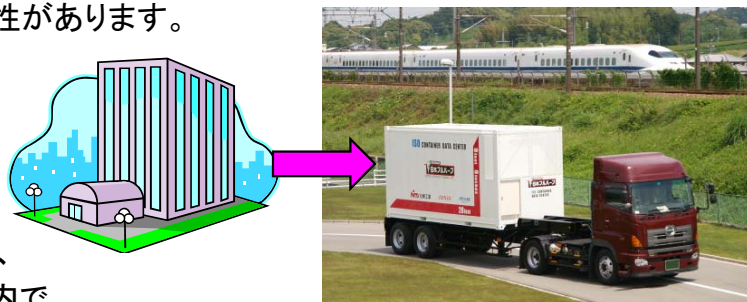
一方日本は自然災害を常に考慮する必要があります。

特に東京では直下型地震と富士山噴火で課題です。

富士山が噴火すると屋外にある空調装置は噴煙により大半が使用出来なくなります。どこでも電算室は物理的に安全な場所に移動して運用を継続する事が出来る、

国内唯一の電算室。又海外事業所の電算室として、国内で

システム構築をしそのまま納入出来ます。更に洪水時には速やかに待避出来ます。



③オーダメイド情報室

本コンテナはデータセンタ用に開発しましたが、本質は熱を発生するIT機器を導入する入れ物です。

自社開発なので様々なご要望にお応え出来ます。人の作業場所やお客様専用機器の導入等が可能です。

随時移動する為、道路交通法で最大の大きさが決められていますが、様々な可能性を創造出来ます。

